

| Poster / speaker      | title   | authors  |
|-----------------------|---|--|
| P1-01 Tomoya Taguchi  | Network cores of the human functional connectome  | Tomoya Taguchi (1), Jun Kitazono (1), Shuntaro Sasai (2), Masafumi Oizumi (1) (1. Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo, 2. Araya Inc.)                      |
| P1-02 マシュー ホーランド      | 学習システムにおける汎化指標の設計と可能性   | マシュー ホーランド(1) (1. 大阪大学)  |
| P1-03 古谷幸太郎           | ショウジョウバエ幼虫におけるブレバリス抑制の神経回路機序に関する研究  | 古谷 幸太郎 (1), 勝又 雄基 (1), 石橋 正幸 (1), 森本高子 (2), 青西亨 (1) (1. 東京工業大学情報理工学大学院, 2. 東京薬科大学生命科学部)  |
| P1-04 Atsushi Takagi  | A motoric measure of handedness using a smartphone  | Atsushi Takagi (1), Hiroaki Gomi (1) (1. Sensory and Motor Research Group, NTT Communication Science Laboratories)   |
| P1-05 樹神 篤            | サルV4野の神経反応が示す次元数の推定   | 樹神 篤(1), 酒井 宏(2) (1. 筑波大学大学院情報理工学学位プログラム, 2. 筑波大学大学院システム情報工学研究科)   |
| P1-06 吉田健祐            | 睡眠中のシナプス可塑性による情報量最大化  | 吉田 健祐(1,2), 豊泉 太郎(1,2) (1. 理化学研究所脳神経科学研究センター, 2. 東京大学大学院情報理工学系研究科)   |
| P1-07 間島慶             | 超高次元データ解析のための量子インスパイア主成分分析の開発   | 間島 慶(1), 小出(間島)真子(2), 八幡 憲明(1) (1. 量子科学技術研究開発機構, 2. 情報通信研究機構)  |
| P1-08 Shunsuke Kamiya | Quantifying State Transition Cost in Stochastic Neural Systems                              | Shunsuke Kamiya (1), Genji Kawakita (1), Shuntaro Sasai (2), Jun Kitazono (1), Masafumi Oizumi (1) (1. Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo, 2. Araya Inc.) |
| P1-09 小林泰良            | 陽解法を用いたマルチコンパートメントモデルの高性能シミュレーション   | 小林泰良、栗山凜、山崎匡(電気通信大学大学院情報理工学研究科)  |
| P1-10 田坂源之助           | 2次条件付けによる皮質間連合応答の解析   | 田坂 源之助(1), 塚田 稔(2), 相原 威(1,2) (1. 玉川大学大学院工学研究科, 2. 玉川大学脳科学研究科)   |
| P1-11 山根ゆか子           | マーマセットカルシウムイメージングデータの因果解析   | 山根ゆか子(1), 蝦名鉄平(2), 笹川瑛貴(2), 寺田晋一郎(2), 上村允人(2), 大木研一(2), 松崎政紀(2), 銅谷賢治(1) (1. 沖縄科学技術大学院大学, 2. 東京大学大学院医学研究科)   |
| P1-12 高田 健介           | アセチルコリンによるシナプス抑制とシータリズムを用いた海馬リプレイの獲得・想起モデル  | 高田 健介(1), 立野 勝巳(1) (1. 九州工業大学 大学院生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻)  |
| P1-13 中村 仁            | 動的シナプスを用いた報酬修飾型レザパー計算に基づく行動計画の数理モデル   | 中村 仁(1), 香取 勇一(1) (1. 公立はこだて未来大学)  |
| P1-14 平山友駿            | Neurobotics Platformを用いた脳身体シミュレーション分散環境の構築  | 平山 友駿(1), 栗山 凜(1), 山田 泰輝(2), 山崎 匡(1) (1. 電気通信大学大学院情報理工学研究科, 2. 電気通信大学情報理工学域)   |
| P1-15 望月 直樹           | 帰還接続における伝搬遅延によるSTDPシナプスの選別  | 望月 直樹(1), 石田 実穂子(1), 鞍掛 碧流(1), 池田 翔(1), 山本 英明(2), 平野愛弓(2,3), 谷井 孝至(1) (1. 早稲田大学理工学術院, 2. 東北大学電気通信研究所, 3. 東北大学材料科学高等研究所)  |
| P1-16 藤本ありさ           | リカレントニューラルネットワークの固有値分布における対称性解析   | 藤本 ありさ(1,2), 山本 英明(1,2), 守谷 哲(2), 佐藤 茂雄(1,2) (1. 東北大学大学院工学研究科, 2. 東北大学電気通信研究所)   |
| P1-17 白石祥之            | 深層畳み込みニューラルネットワークにおける受容野特性の階層表現   | 白石祥之(1,2), 眞田尚久(3), 内藤智之(1) (1. 大阪大学大学院医学系研究科, 2. 日本たばこ産業株式会社, 3. 岩手県立大学ソフトウェア情報学部)  |
| P1-18 小西文昂            | 干渉SARデータを用いた方位角分類のための複素リザパーコンピューティングと実数リザパーコンピューティングの比較                                     | 小西 文昂(1), 廣瀬 明(1), 夏秋 嶺(1) (1. 東京大学大学院工学系研究科)  |
| P1-19 鞍掛碧流            | 人工神経回路への2針電極による刺激と応答計測  | 鞍掛碧流(1), 望月直樹(1), 池田翔(1), 岸野颯馬(1), 小熊奏一郎(1), 藤原彰(1), 山本英明(2), 平野愛弓(2,3), 谷井孝至(1) (1. 早稲田大学理工学術院, 2. 東北大学電気通信研究所, 3. 東北大学材料科学高等研究所)   |
| P1-20 Takuya Koumura  | Psychophysical Detection Sensitivity in a Neural Network Trained for Sound Classification   | Takuya Koumura (1), Hiroki Terashima (1), Shigeto Furukawa (1) (1. NTT Communication Science Laboratories)   |
| P1-21 栗原勇人            | 知り合いペアか初対面ペアかによるインタラクション時の神経ネットワークの違い   | 栗原勇人(1), 高橋徹(2), 大須理英子(2) (1. 早稲田大学大学院人間科学研究科, 2. 早稲田大学人間科学学術院)  |
| P1-22 三嶋 暁            | 運動機能リハビリテーションに注目した脳波による三種把持動作分類における個人差の検討   | 三嶋 暁(1), 柴田 宏誠(1), サンチェス マリア(1), 我妻広明(1,2) (1. 九州工業大学大学院生命体工学研究科, 2. 理化学研究所脳神経科学研究センター)  |
| P2-01 福嶋 誠            | パケットベースの通信に適した脳構造ネットワーク上の信号伝播モデル  | 福嶋 誠(1,2), ライブニッツ 賢治(2,3) (1. 奈良先端科学技術大学院大学, 2. 情報通信研究機構, 3. 大阪大学)   |
| P2-02 藤本 詠大           | 深層ニューラルネットワークによるMRI画像での脳腫瘍の領域分割のための断面選択   | 藤本 詠大, 小西 清貴, 小川昭利 (順天堂大学)   |
| P2-03 Naoki Nagamatsu | Robustness Evaluation of Direct Feedback Alignment Learning for Analog VLSI Neural Networks | Naoki Nagamatsu(1), Hideki Murakami(1), Seiji Uenohara(2), Takashi Morie(2) (1. National Institute of Technology, Kurume College, 2. Kyushu Institute of Technology)                 |
| P2-04 我妻伸彦            | 3種類の抑制性細胞が協働する局所神経回路の興奮-抑制バランス変化に起因する活動変動   | 我妻伸彦(1), 信川創(2), 深井朋樹(3) (1. 東邦大学, 2. 千葉工業大学, 3. 沖縄科学技術大学院大学)  |
| P2-05 片岡 麻輝           | 色のカテゴリーカルな神経表現の獲得   | 片岡 麻輝 (1), 大泉 匡史 (1) (1. 東京大学大学院総合文化研究科)   |
| P2-06 棚瀬 諒真           | 触力覚形状識別課題における主成分分析を用いた注目特徴の抽出   | 棚瀬 諒真(1), 五味 裕章(1), (1.NTTコミュニケーション科学基礎研究所)  |
| P2-07 市瀬 規善           | 論理的推論の制約によりカテゴリを生成する機械学習の方法   | 市瀬 規善  |
| P2-08 坂本一寛            | 動的強化学習における中庸  | 坂本一寛(1,2) (1. 東北医科薬科大学医学部, 2. 東北大学大学院医学系研究科)   |
| P2-09 前田太郎            | 全脳にわたって自己組織化する意識上記憶と意識下学習の相互作用モデル: 時間連続事象中で時間離散化された情報のゼロ表現の有用性 第8報                          | 前田太郎(1,2), 西尾 直樹(1) (1.大阪大学 大学院 情報科学研究科 2. 独立行政法人 脳情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター)   |
| P2-10 一色 浩            | 変分自由エネルギー原理の基礎と数値的な応用例  | 一色 浩(数理解析研究所)  |
| P2-11 長谷川 勝彦          | 精緻な空間形状を持つ下オリーブ核ネットワークモデルのシミュレーション  | 長谷川 勝彦(1), 小林 泰良(1), 大垣 雅史(1), 山崎 匡(1) (1. 電気通信大学大学院情報理工学研究科)  |
| P2-12 Genji Kawakita  | Neural manifold alignment for the foundation of brain-to-brain communication                | Genji Kawakita (1), Masafumi Oizumi (1) (1. Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo)   |
| P2-13 飯野 雄一           | 4Dイメージングによる線虫の頭部神経活動の計測と回路シミュレーション  | 飯野 雄一, 永田 大貴, 豊島 有, 佐藤 博文, 金森 真奈美, 久世 晃揚, ジェンムンソン, ウステファン, 大江 紗, 村上 悠子, 久下 小百合, 広瀬 修, 徳永 旭将, 寺本 孝行, 岩崎 唯史, 吉田 亮, 石原 健  |
| P2-14 篠崎隆志            | 脳の仕組みに基づく教師なし学習を用いたCNNによる動きの特徴抽出  | 篠崎 隆志(1) (1. 情報通信研究機構)   |
| P2-15 廣瀬明             | スピン波リザパーコンピューティングチップにおける読み出し電極配置の規則性が性能に与える影響   | 市村剛大(1), 中根了昌(1), 田中剛平(2), 廣瀬明(1) (1. 東京大学大学院工学系研究科, 2. 東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構)   |
| P2-16 田村花綾            | ニューロンの空間形状による刺激シークエンスの弁別  | 田村花綾, 小林泰良, 山崎匡  |
| P2-17 文清一             | 神経刺激電極アレイのCMOS集積化に向けた能動的チャージバランス回路  | 文清一(1), 赤井 恵(2), 浅井 哲也(2), (1.北海道大学院情報科学研究院, 2.北海道大学院情報科学院)  |
| P2-18 住拓磨             | リザパー計算に基づく人工神経細胞回路のパターン分類特性の評価  | 住拓磨(1,2), 山本英明(3), 守谷哲(3), 竹室汰貴(2,3), 金野智浩(4), 佐藤茂雄(3), 平野愛弓(1,2,3) (1. 東北大学材料科学高等研究所, 2. 東北大学大学院医学研究科 3. 東北大学電気通信研究所, 4. 東北大学大学院薬学研究科)  |
| P2-19 西尾 直樹           | Eigenfunction Synchronicity Modelがもたらす多層パーセプトロンでの直交補空間学習 - 時間連続事象中で時間離散化された情報のゼロ表現の有用性 第9報  | 西尾 直樹(1), 前田 太郎(1,2) (大阪大学大学院情報科学研究科, 2. 独立行政法人 脳情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター)   |
| P2-20 和泉 友人           | レザパー計算と予測符号化に基づく二経路視覚情報処理モデル  | 和泉 友人(1), 香取 勇一(1,2) (1. 公立はこだて未来大学システム情報科学部, 2. 東京大学生産技術研究所)  |
| P2-21 上田 壮志           | 安静時とノンレム睡眠時の大脳皮質局所ネットワーク構造は類似である  | 上田 壮志(1), 宮崎 峻弘(1), 坂本 航太郎(2), 日野 英逸(2), 柳沢正史(1) (1. 筑波大学睡眠機構 2. 統計数理研究所)  |